

めっき加工業の多様な働き方

めっき加工、高村工業所（大和市上草柳、☎046・263・4556）は、生産ラインの責任者に子育て中の女性を抜てきした。働き方改革を進める。めっき加工は、いわば“受託型加工業”。納期や仕事量はお客さんの要望に左右されるため、世間的な働き方改革は難しいとされてきた。ただ、同社では固定シフト制の導入や、一人で行っていた仕事を細分化して「誰でもできる作業」を創出することで実現できるとしており、このほど挑戦を始めた。

.....
 亜鉛めっきが主力。日本では、環境配慮型という亜鉛3価クロムメッキが一般的だが、同社の場合、より防錆機能が強く、海外でも広く採用されている「亜鉛ニッケルメッキ」に着目。研究の末、2018年12月には、同メッキの自動ラインを稼働させた。これは、県内のみならず、南関東でも唯一の設備だという。

そんな同社で、現場に5つある生産ラインの一つを任されたのは、入社9年目の女性社員・高山亜也子さん。めっき技能士1級資格者で、全国めっき技術コンクールで金賞を取った腕前だ。

高山さんは子育ての真ただ中。残業は難しい。従来なら残業できなかったが、そこをあえて変えた。高村将名社長は「一人が長く働くという価値観から脱却して、社内制度を見直せば問題ありません」と説明する。

生産ラインの作業時間を固定

具体的には、繁忙期などに左右されていた工場の作業時間を毎日午前6時～午後10時に固定。それと併行し、現場の従業員を「リーダー」と「サブリーダー」「それ以外」に分類した。

高山さんのラインでは「リーダー」のシフトは午前8時～午後5時。「サブリーダー」が午前6時～午後3時または同1時～同10時のシフト勤務とすることで、リーダー不在の時間をカバーしている。

リーダーは、あらかじめ段取りをした上でサブリーダーに引き継ぎ。



リーダー・サブリーダー制を導入

高村工業所

リーダー不在時は、作業員が高校生アルバイトでも、サブリーダーが管理することで、問題なく生産を維持できる体制を作っている。



「子育て中の女性が管理者として活躍することで、働き方のモデルケースとして、新しい改革を起こすことができます」と、高村社長は語っている。

子育て中でも責任者に

ロボット+自動化装置

の融合

ワークス技研（綾瀬市深谷南、☎046・781・4186）は、ロボットのシステムインテグレーター（S I e r）と自動化装置を融合させたハイブリッド業種を目指す。ゼロからのフルオーダーで産業用ロボットを製作できる技術力を持ちながらも、伝統ある自動化装置の技術を継承。それぞれの長所を組み合わせ、人手不足に悩む企業に対し、ほぼ無人に近い現場を実現していく。

ハイブリッド業態に

従業員4人のロボットベンチャー。過去にはロボットコンテストに出場する学校のハード部分を請け負ったほか、医療用検査ロボの開発に携わるなど、さまざまな経験をしている。

現在、同社には人手不足のために「現場を自動化（無人化）したい」との要望が相次ぐ。そこで同社が着目しているのがS I e rと自動化装置を組み合わせる提案だ。

「一般的にS I e rは最初から『ロボット導入ありき』で話をします。しかし、全体の作業効率を考えた場合、自動化装置の方が良いこともあります。従来はお互いに別の領域でしたが、当社では両方



の側面からお客さんの生産効率化を考えます」と大堀有社長。

自動化装置を手掛ける会社は、地域にも多数存在するが、最近では高齢化により廃業する企業が出てきている。そのため、同社では積極的に協業することで、技術継承を図っている。「ノウハウを学んで次世代にも伝えていきます」（大堀社長）と言う。

最近では、食品業界で人が行っていた後工程の省人化を実現。食品加工のパッケージ作業を自動化装置で行い、出荷用ダンボールに詰め込む作業をロボットが行うシステムを納入した。

人手不足に貢献

笑顔のものづくり実践



身に着けるだけで笑顔になれる。そんな商品作りを実践しようと、作業用品の総合商社、のぼのぼ（横浜市瀬谷区卸本町）の野畑昭彦社長が2017年1月に発足した新会社、その名も「株式会社うんこ」（同、☎070・4188・8000）は、期間限定でリアル店舗をオープンさせた。5月3、4の両日、同社近くの横浜総合卸売センター内で即売会を開いた。

同社は日本で初めて「うんこ」の商標登録に成功。現在、「うんこマーク」が入ったスニーカーやTシャツ、ポロシャツなど、計200点を通販サイト「UNCO SHOP」

うんこショップ 期間限定で実店舗

株式会社うんこ

で販売している。

「凶悪犯罪や虐待、大規模災害など、嫌なことが多くなり、下を向いて歩く人が増えた気がします。そんな時に『うんこマーク』が付いた商品を身につけた人を見たら、多くの人が『クスッ』とほほ笑みます。この『クスッ』がある商品作りで、世の中を明るくしたいです」と野畑社長。

今回、2日間限定の実店舗を開くことで「たくさんの人にうんこ商品を知ってもらいたい」（野畑社長）との思いがあると言う。

2日間で計300人が来場。うんこマークが入ったTシャツなどを購入していた。会場内ではさまざまなイベントも催された。



知財コンサル引き受けます

企業向けフィットネスサービスを展開する、スレイプニル（相模原市緑区橋本、☎042・812・4613）は、新規事業として中小企業向けの「技術コンサルティングサービス」を始めた。

大手音響機器メーカーに在籍する現役の知財専門家や弁理士と連携。自社製品を持っていたり、これから開発したりする際に「特許を出願したいがどうしてよいか分からない」という悩みがある企業に対し“第三者目線”でアドバイス。申請までをワンストップでサポートしていく。

実際の支援では、各専門家と支援チームを結成。特許を出願したい製品などに対し、どの技術で出

現役の専門家と連携し支援

願すれば有効なのかを決める。例えば、特許出願なのか意匠登録が良いのかも判断する。コンサル料は1案件10万円から（弁理士費用など別）。

「無駄にならない特許」にするサポートをします。製品化しても知財で足をすくわれないために対策は不可欠です」と、同社の横澤和人社長。まずは初年度5案件ほどを目標にしている。



スレイプニル



社長さんが知っておきたい冠婚葬祭のマナー

皆さまは、社葬にかかわる費用の内容をどこまでご存知でしょうか？

前回は社葬取扱規定の概要をお伝えしました。いざその時、遺族のサポートや社内の統制などの決断において「何も知らない」では迅速な対応ができません。

そこで今回は、社葬費用の内容と、どこまでが会社の経費で摘要をするのかをお伝えいたします。

まず、社葬費用のすべてが摘要できるわけではありません。

これは、「社会通念上相当」という線引きがあります。

これは、以前お伝えした社葬対象者であれば、会社が社葬費用を負担すること

に十分な理由がありますので、社葬費用は福利厚生費として摘要することができます。

実際に執り行う際に、必要な費用を例に挙げますと、▽葬儀会場費用および周辺駐車場使用料・祭壇▽葬具備品費用・会場外テント▽受付備品▽照明▽警備員費用・社葬の通知広告▽案内状費用・遺族や来賓の送迎費用・供花供物の費用・飲食代・会葬者への礼状や返礼品・お手伝いの方への心付け・お布施（社葬でのお経料のみ）— などを挙げます。

一方で摘要できないものは、基本的に遺族が支払うべきとされるものになります。

今回は、経費として摘要できないものについて詳しくお伝えいたします。

（清水誠葬具店副社長・清水ふじ代）



ワークス技研

かながわ経済新聞設置図書館（最新15館）	
神奈川県立図書館	横浜市西区紅葉ヶ丘 9-2
相模原市立図書館	相模原市中央区鹿沼台 2-13-1
相模原市立相模大野図書館	相模原市南区相模大野 4-4-1
相模原市立橋本図書館	相模原市緑区橋本 3-28-1
横浜市中央図書館	横浜市西区老松町 1
座間市立図書館	座間市入谷 3-5873
綾瀬市立図書館	綾瀬市深谷中 1-3-1
川崎市立中原図書館	川崎市中原区小杉町 3-1301
鎌倉市中央図書館	鎌倉市御成町 20-35
大和市立図書館	大和市大和南 1-8-1
海老名市立中央図書館	海老名市めぐみ町 7-1
厚木市立中央図書館	厚木市中町 1-1-3
町田市立図書館	東京都町田市原町田 3-2-9
藤沢市総合市民図書館	藤沢市湘南台 7-18-2
秦野市立図書館	秦野市平沢 94-1

社葬についての基礎知識⑤ ~費用について~

社葬にかかわる費用の内容をどこまでご存知でしょうか？